

地域学校協働本部

「支援」から「連携・協働」へ

幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する活動を実施

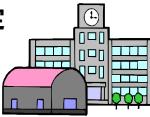
趣旨

地域と学校が連携・協働する仕組みづくりを促進し、子どもたちを支えるだけでなく、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る。

地域学校協働本部

■平成30年度実施予定
11市町 115本部

学校



関係者による協議会の設置（目標、活動方針や取組内容等の共有）



地域学校協働活動推進員 (地域コーディネーター)

- 退職教職員、PTA経験者など
地域と学校の現状をよく理解
している人

(活動の企画、地域・
学校との連絡・調整)

地域ボランティア



参画

幅広い 地域住民等

地域の
青少年・
成人・
高齢者

労働関係
機関・
団体

企業・
経済団体

文化・
スポーツ
団体

保護者

社会教育
関係団体

民間教育
事業者

地域における連携・協働の場の提供

連携・協働

地域学校協働活動

【活動の例】

- 学びによるまちづくり
 - ・地域資源を活用した
地域ブランドづくり学習
 - ・地域防災マップ作成等
- 地域人材育成
 - ・地域課題解決型学習
 - ・地域人材による
キャリア教育 等
- 地域行事への参加
 - ・地域・学校協働防災訓練
 - ・地域の伝統行事への参画等
- ボランティア・体験活動
 - ・地域の高齢者施設での
ボランティア学習
 - ・地域の商店街での
職場体験活動等

地域に出かけていく活動の創出

○学校支援活動

- ・学習支援
- ・部活動支援
- ・校内環境整備
- ・学校行事支援
- ・子どもの安全確保、
見守り 等

○学校周辺環境整備

- ・地域学校協働清掃活動

○花壇整備等

○郷土学習

- ・郷土史調査学習
- ・地域の自然環境、
フィールドワーク

教員

子ども

地域資源を 生かした 学校の 教育活動

期待される効果

- 子どもにとって**
- ⇒ 専門的な知識や技能を持った地域住民等とのふれあいを通じて、学びや体験活動が充実するとともに、地域の人々と顔見知りになり、地域の担い手としての自覚が高まる。また、多様な経験を積むことで、学習意欲が喚起され、自ら課題を解決しようとする資質や能力が育まれる。
- 学校にとって**
- ⇒ 地域住民等の理解と協力を得て、地域資源を生かした授業づくりが進められる。また、学校支援ボランティアが組織化されると、教員の異動に関わらず、持続可能な学校支援体制が担保される。子どもの教育を保護者や地域住民等とともに担うことで、ひいては教員の負担軽減につながり、子どもと向き合う時間が増える。
- 地域にとって**
- ⇒ 地域住民等が自らの経験や知識を子どもの教育に生かすことで、生きがいや自己実現の機会や場がつくられる。地域の子どもと顔見知りになり、ひいては、地域住民同士も顔と名前が一致する関係が進む。学校を舞台に地域の緩やかなネットワークが形成され、新たな地域コミュニティがつくられる。